



2005・冬号
発行：法問寺
題字：鈴木裕子

春を迎えて

昨年は世界中で自然災害の多い年でした。日本でも異常に多い台風水害がきたり新潟中越地方を襲った地震



災害があったりで自然の力強さに人間の弱さを感じとりました。仏教では「人間は自然界に生かされている」という考えがあります。この「生かされている」という部分を忘れてしまいがちで、いろいろな影響が我々を生かしてくれているのですが、こんなに災害が多いと自然環境を破壊しつつある人間への警告とも思われます。新しい年を迎え今年が良いことの多い年回りになると思います。自分自身、生かされているということをお忘れす多くの事に感謝できる毎日を送りたいたいです。春の暖かさは、お日様のおかげそんな簡単なことに気がつけるようにしたいと思います。

写真は静岡県朝霧高原付近からの夕日に色づく富士山です。

◇寺かしの報告◇

庫裏・客殿が新しくなります。数年前から庫裏客殿の不具合が多くなりました。屋根からの雨漏り、シロアリの大量発生腐食による床落ち、鼠の発生なども含め客殿の効率的な使用方法を考慮して昨年末に総代の皆様と相談し庫裏客殿の新築に踏み切ることになりました。年明けの総代・世話人会におきまして再度審議の結果、



庫裏客殿新築の許可をいただきました。新しい客殿は椅子・テーブルを使用する部屋とし、現在の客殿より少々広い部屋になります。三月になると現在の建物を解体し、着工となり、十月頃に竣工予定です。秋の十夜法要には檀家の皆様に使っていただける予定です。今年の春のお彼岸、お盆、秋のお彼岸、年回法要などと皆様にも大変ご迷惑をおかけ致しますが何卒ご理解をいただけますようお願いいたします。尚、客殿部分については全檀家の皆様よりご寄付を頂戴し建築費の補填にさせていただきます。お願い申し上げます。詳細については再度ご依頼させていただきます。



法問寺花だより 鈴木裕子

秋から冬にかけては、なんとなく、あたりの景色も寒々しくなりがちです。それでも、水仙や山茶花、椿などが賑わしてくれました。



年々、花の開花が早まっているように思えます。玄關先の紅梅も1月末からほころび始めました。



届けてくれる時期でもありません。雀、ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、つぐみなど、ご飯をあげる季節



節扶養家族が増えて、私を染しませてくれます。メジロは、毎日、つがいと仲良く梅の枝にきます。ヒヨドリは、よく嫌われ者と言われますが、実はとても賢く、言う事がよくわかります。今は毎日、桃の木の枝から、私の投げる餌を、空中キャッチしています！

☆任職の奉仕活動報告

七月新潟県豪雨災害地三条市にて奉仕活動・十一月新潟中越地震被災地小千谷市にて葛飾赤十字産院救護班に同行し医療救護活動のサポート・一月新小岩公園にて災害帰宅困難者支援活動訓練参加・一月浄土宗北部組寺院新年会にてスマトラ沖津波災害救援募金集め

相変わらずの救援活動をしています

★★★昨年九月よりの計報★★★

九月十九日寂 加藤芳江様 八十四歳

圓譽寂光芳薫信女

一月一日寂 佐藤律三様 七十五歳

經真院寛律善談居士 (法問寺総代)

一月四日寂 加藤すぎ様 八十九歳

相譽西浄晃恵信女

一月十五日寂 島田豊子様 八十九歳

恩譽豊徳信女

一月二十九日寂 泉田ひろみ様 五十五歳

宏輝慈海信女

◇編集後記 住職

数年来よりの念願であった庫裏客殿の新築に踏み切ることになりました。今の客殿は出来上がった当時では広い感じがしましたが、色々な点で使いにくかったのが実情で、今回、皆様の生活様式なども考慮して段差の少ない、椅子と机を使用する休憩・控え室にすることにしました。お年寄りの方は足腰が弱り正座をすることがほとんどなくなりつつあります。お寺に来る時には楽に休めるようにしましたのでご期待下さい。南無南無